



隠岐・西ノ島カレンダー2017好評発売中！

今年も西ノ島町観光協会「隠岐・西ノ島カレンダー」を販売しています。
今回は「カレンダーフォトコンテスト」にエントリーした方の写真がたくさん入っています。西ノ島で観察できる野鳥の情報も掲載されています。

ぜひお土産に、家庭用に、親戚にお買い求めください。
(一社) 西ノ島町観光協会 (別府港第2ターミナル1F)

電話：08514-7-8888

【その他の販売店】

西ノ島町役場 (本庁・別府支所)、さくらや、安藤本店、だるまや



壁掛けカレンダー 1,080円 (税込)

日本最大の鳥のイベントに出展しました！

11月5日(土)、6日(日)の2日間、千葉県我孫子市で行われた「ジャパンバードフェスティバル2016」に出展しました。このイベントは鳥をテーマにした日本最大のイベントで、フォトコンテストやミニライブ、鳥学講座、イラスト教室や観察会、旅行ツアー紹介、グッズ販売など様々な催しが行われました。展示ブースでは西ノ島の野鳥や自然の魅力をポスターや動画などで紹介しました。

2日間で400名以上の方と直接会話をすることができ、もう次の日には「ぜひ来年行きたい」と具体的な問い合わせも頂きました。西ノ島の自然の魅力をもっと知ってもらうために、来年も参加したいと思っています。



2017年豪華客船寄港予定

豪華客船は来年も寄港する予定ですので、ぜひ浦郷港にお出かけください。

(5月11日、6月2日/にっぽん丸 9月22日/飛鳥Ⅱ)

来年の春にはタブレット等で周知しますのでご確認ください。浦郷港での出店、船内見学等を予定しています。



発見！

西ノ島の自然の魅力 Vol. 11 『冬のフクロウ』

冬の夜、わざわざ国賀海岸に出向く方はまずいないでしょう。でも、冬の夜の国賀海岸は、この時期にしかないある生き物に出会える可能性があるのです。

昨冬のある夜、赤尾展望所近くの道路を走っていると、道端にポツンと子犬ほどの物体が止まっていた。よく見るとそれは生き物で、ライトに照らされても逃げ出さず、辺りをキョロキョロと見まわしています。そして音もなく飛び去ってしまいました。この生き物はフクロウの仲間の「トラフズク」。日本の北の地域で子育てをして西日本で越冬します。西ノ島にも越冬のために訪れていて、夜はエサを探すために道端に出てきているようです。

余談ですが、フクロウの仲間の羽は、特殊な構造をしていて羽ばたく音がしません。本やテレビなどで、フクロウが飛び立つシーンに「バタバタ」と効果音や文字が入っていれば、それは誤りです。

(by 江崎)



▲トラフズク



国際交流員チェルシーによる『チェルシージャーナル』

クリスマスについてよく聞かれる質問ベスト5

メリークリスマス、そしてハッピーホリデーズ（良い祝日を）！12月の公休日と言えば・・・日本なら天皇誕生日、米国ならクリスマスですが、今回は良く聞かれる質問の答えを紹介します。

クリスマスの料理と言えば、七面鳥ですよね。チェルシーさんもよく食べますか？

実家ではずっとクリスマスハムだったような気が・・・。米国では、11月では第4木曜日のサンクスギビング（感謝祭）に七面鳥が必ず出るので、来月のクリスマスにまた出るとマンネリに感じる家族もいるかもしれません。ハム、七面鳥、ローストビーフが人気です。



日本はキリスト教の国ではないのにクリスマスを祝うのがおかしいと思いますか？

現代、米国の全国人口の9割、そして非キリスト教人口の8割が祝っていると言われていますが、「宗教的祝日のクリスマス」、そして冬の伝統を楽しむ「文化的祝祭のクリスマス」がそれぞれ認められています。キリストのイラストでなくサンタのイラストが出る時点で文化的な祭りとして祝っていることだと分ります。日本ではサンタとトナカイをよく見かけるので、アメリカのような文化的な祝いだと思えば、自然なことだと感じます。

クリスマス・イブはどこかでデートしますか？

オハイオ州の実家で暖炉の前で温かい毛布にくるまって、ホットココアを片手に全国放送のクリスマス映画を家族でのんびり見る予定です。やはり私にとっては、どうしてもロマンスの日よりは『家族の日』のイメージが強いです！

サンタは、コカ・コーラが作ったキャラクターでしょう？

鬼太郎が有名になる前に『妖怪』がすでに存在したと同様に、コカ・コーラが販売された前にも様々な言い伝えて「サンタ」が存在しました。1823年出版の「クリスマスの前の晩」が今もよく知られている例です。ただ、昔は体が細かったり太ったり、たまには青、たまには赤、たまには緑の服やローブ（長衣）の姿で描かれていたサンタが、1930年頃、コカ・コーラの広告の影響で「服はいつも赤」「体形がいつも福々しい」というイメージで世界に広まったそうです。

去年の広報に、ご家族がクリスマス・ツリーの中にピクルスを隠すと書いてあったが、ほかに何か面白い慣習はありますか？

「ペーパーミント豚」というピンク色の飴があり、手とほぼ同じ大きさで豚の形をしています。単純に食べるだけでなく、布の袋に入れ、食卓の皆さん一人一人に回していきます。貰った人が袋を小型ハンマーで軽く叩き、その年の思い出話を語ってから袋の中から飴の欠片を取って食べるという少し変わった習慣です。

